

令和5年
「年末の交通事故防止運動」推進要綱

目 的

この運動は、年末にかけて交通事故が多発する傾向にあることから、広く府民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることによって、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

期 間

令和5年12月1日（金）から12月31日（日）までの1か月間

運動の重点

- 交差点における交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶

スローガン

- あぶないよ いそぐきもちに しんこきゅう
令和5年使用「交通安全年間スローガン」（文部科学大臣賞）
- 夕暮れの ライトは迷わず 早めから
令和5年使用「交通安全年間スローガン」（全日本交通安全協会会長賞）
- 「なにで来た？」 乾杯前の 合言葉
令和5年使用「交通安全年間スローガン」（警察庁長官賞）

運動の進め方

年末にかけて、交差点及び交差点付近の交通事故や夕暮れ時及び夜間の交通事故が多発する傾向にあり、また、飲酒の機会が増えることから、府民一人ひとりが交通ルールを守り、安全な交通行動を実践し、交通事故の防止に寄与するよう効果的に運動を展開する。

- ポスター、スポット放送、ホームページ、SNS等を活用した効果的な広報啓発活動を行う。
- 市（区）町村を中心として、地域住民と一体的な交通安全運動を展開する。

12月の府内一斉交通安全指導日等

12月8日（金） ミニバイク・自動二輪車・自転車の安全指導日

12月15日（金） 近畿交通安全デー、交通安全家庭の日
高齢者交通事故ゼロの日
シートベルト着用徹底の日

12月20日（水） めいわく駐車・放置自転車追放デー
ノーマイカーデー

交差点における交通事故防止

本年9月末時点において、交通事故死者・重傷者数のうち、交差点及び交差点付近の交通事故による死者・重傷者数は1,616人（前年比+98人）と全体の7割以上を占めており、交差点及び交差点付近の交通事故による死者・重傷者数を状態別で見ると、自転車乗用中が約39パーセント、二輪車乗用中が約36パーセントを占め、合計で7割を超えている状況にある。

また、過去5年累計で見ると、年末にかけて交差点及び交差点付近の交通事故により死者・重傷者数が増加する傾向にあることから、自転車と二輪車に重点を置き、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼び掛ける広報啓発活動等を積極的に展開することで、交差点及び交差点付近における交通事故防止を図る。

◆ 推進機関・団体での推進項目

- 交差点での街頭指導及び交差点の交通事故防止に向けたキャンペーン等の推進
- 信号を守る、一時停止の標識がある交差点では必ず止まる等の交通ルール遵守の重要性を周知するための交通安全教育及び広報啓発活動の推進
- 朝夕における交差点活動等の強化推進
- 街頭活動を通じた、信号無視、無理な横断等に対する指導警告の実施

◆ 広報・実践促進事項

- 歩行者は
 - 信号を必ず守り、青信号でも必ず左右の安全確認をしましょう
 - 道路を横断するときは、横断歩道を渡りましょう。
 - 横断歩道を横断するときは、ドライバーに目と手で合図（ハンドサイン）を送り、お互いの意思疎通を図りましょう。
 - 飛び出しや無理な横断はやめましょう。
- 自転車利用者は
 - 信号を必ず守り、青信号でも必ず左右・後方の安全を確認しましょう。
 - 一時停止の標識のある交差点では必ず止まり、左右をよく確認しましょう。
 - 安全な速度で走行し、見通しの悪い交差点等では一時停止するなどして、必ず左右の安全確認をしましょう。
 - ヘルメットを着用し、万一の事故に備えましょう。
- ライダーは
 - 交差点に進入するときは、しっかり安全確認をしましょう。
 - 安全な速度で走行し、見通しの悪い交差点等では一時停止するなどして、必ず左右の安全確認をしましょう。
 - 交差点を直進する際は、特に対向の右折車両の動きに十分注意しましょう。
 - 車との並進を避け、左折時の巻き込みに注意しましょう。
 - 車間距離を十分に取り、車列の横をすり抜けたり、無理な追い越しや急な進路変更はやめましょう。
 - 交通事故に備えて、ヘルメット及び胸部プロテクター等を正しく着用しましょう。
- ドライバーは
 - 交差点に近づいたら速度を落とし、しっかりと安全確認をしましょう。
 - 一時停止の標識のある交差点では必ず止まり、左右をよく確認しましょう。
 - 安全な速度で走行し、見通しの悪い交差点等では一時停止するなどして、必ず左右の安全確認をしましょう。
 - 交差点を右折する際は、対向車両等の動きに十分注意しましょう。
 - 左折時には、歩行者、自転車、二輪車の動きをよく確認し、巻き込みに注意しましょう。
- 地域・職場では
 - 地域交通安全活動推進委員、教育関係者、高年（齢）者交通安全リーダー等は交差点に重点を置いた街頭活動や広報啓発活動をしましょう。
 - 事業者や安全運転管理者等は、従業員に対し、交差点の交通事故防止に関する指導を行います。
- 家庭では
 - こどもには、信号を守ることや横断歩道の渡り方など、大人が手本を示すなどしながら具体的に指導しましょう。
 - 身近に起こった「ヒヤリ・ハット」の体験等をもとに、交通ルールの遵守と安全確認の重要性について家族で話し合ひましょう。

○ 交差点及び交差点付近の交通事故発生状況（令和5年9月末確定値）

	令和5年	令和4年	前年比	増減率
件数	11,573	11,851	-278	-2.3
死者数	73	67	+6	+9.0
重傷者数	1,543	1,451	+92	+6.3
死者・重傷者数	1,616	1,518	+98	+6.5

	令和5年	令和4年
	61.9	64.7
	65.8	64.4
	70.8	71.7
	70.6	71.4

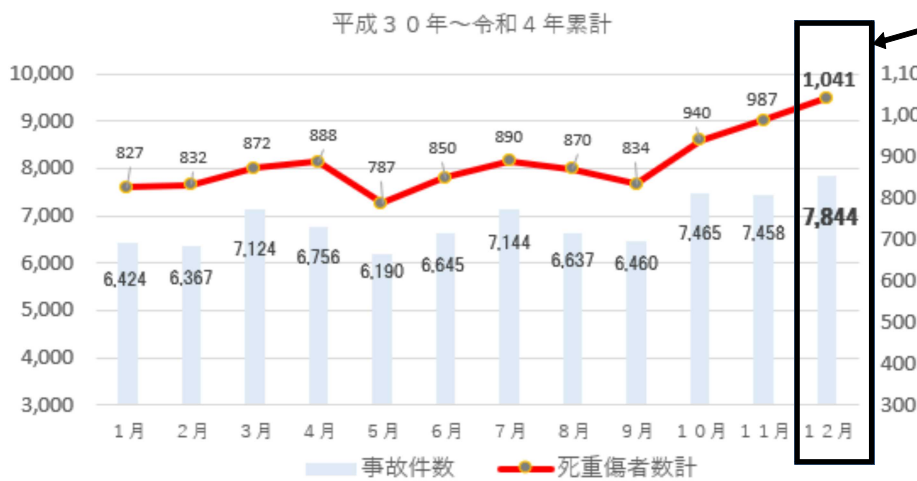
全交通事故に占める交差点(付近)事故の構成率

○ 交差点及び交差点付近の状態別死者・重傷者数（令和5年9月末確定値）

	令和5年						前年比	
	死者数		重傷者数		死者・重傷者数		死者数	重傷者数
		構成率		構成率		構成率		
歩行者	25	34.2	233	15.1	258	16.0	+5	-2
自転車	20	27.4	610	39.5	630	39.0	-2	+26
二輪車	19	26.0	561	36.4	580	35.9	+3	+38
自動車	7	9.6	133	8.6	140	8.7	-2	+18
その他	2	2.7	6	0.4	8	0.5	+2	-2
合計	73	100.0	1,543	100.0	1,616	100.0	+6	+78

※ 当事者自身の死傷者数を計上。

○ 月別交差点及び交差点付近の死者・重傷者数（平成30年～令和4年）

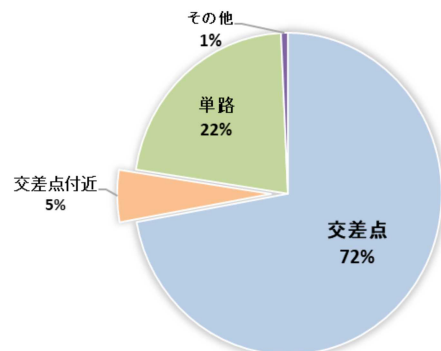


12月は交通事故件数、死者・重傷者数が1年で最も多い!!

○ 自転車の道路形状別死者・重傷者数（令和5年9月末確定値）

	令和5年						前年対比	
	死者数		重傷者数		死者・重傷者数		死者数	重傷者数
		構成率		構成率		構成率		
交差点	11	37.9	564	70.4	575	69.3	±0	+32
交差点付近	9	31.0	46	5.7	55	6.6	-2	-4
交差点等	20	69.0	610	76.2	630	75.9	-2	+28
単路	8	27.6	186	23.2	194	23.4	+7	+35
その他	1	3.4	5	0.6	6	0.7	+1	-1
合計	29	100.0	801	100.0	830	100.0	+6	+62

○ 自転車の道路形状別死者・重傷者数（令和4年～平成1年累計）



※ 自転車乗用中の死重傷者

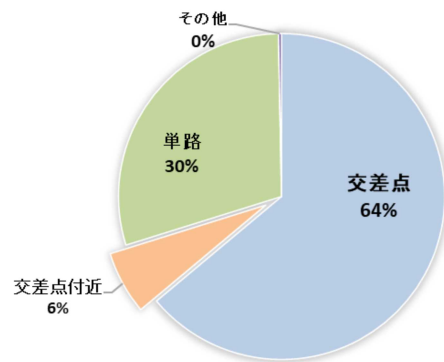
○ 自転車の違反別死者・重傷者数（令和5年9月末確定値）

	令和5年						前年対比	
	死者数		重傷者数		死者・重傷者数		死者数	重傷者数
	構成率	構成率	構成率	構成率				
信号無視	2	7.4	42	5.3	44	5.4	-2	-7
一時不停止	1	3.7	68	8.6	69	8.4	-2	+13
交差点安全進行	0	0.0	31	3.9	31	3.8	±0	±0
ハンドル・ブレーキ操作	6	22.2	10	1.3	16	2.0	+1	+3
前方不注意	1	3.7	6	0.8	7	0.9	±0	±0
動静不注視	0	0.0	107	13.5	107	13.1	-2	+14
安全不確認	9	29.6	348	44.0	357	43.6	+5	+33
その他の違反	3	11.1	28	3.5	31	3.8	+2	-2
違反なし・調査不能	5	22.2	152	19.2	157	19.2	+3	±0
合計	27	100.0	792	100.0	819	100.0	+5	+54

※ 自転車乗用中（1当+2当）の死重傷者数

○ 二輪車の道路形状別死者・重傷者数（令和5年9月末確定値） ○ 二輪車の道路形状別死者・重傷者数（令和4年～平成30年累計）

	令和5年						前年対比	
	死者数		重傷者数		死者・重傷者数		死者数	重傷者数
	構成率	構成率	構成率	構成率				
交差点	10	33.3	503	65.2	513	64.0	-1	+39
交差点付近	9	30.0	58	7.5	67	8.4	+4	+3
交差点等	19	63.3	561	72.7	580	72.3	+3	+42
単路	11	36.7	210	27.2	221	27.6	-5	+10
その他	0	0.0	1	0.1	1	0.1	±0	±0
合計	30	100.0	772	100.0	802	100.0	-2	+52



※ 二輪車乗車中の死重傷者数

○ 二輪車の違反別死者・重傷者数（令和5年9月末確定値）

	令和5年						前年対比		
	死者数		重傷者数		死者・重傷者数		死者数	重傷者数	
	構成率	構成率	構成率	構成率					
信号無視	0	0.0	21	2.8	21	2.7	-3	-1	
速度超過	4	13.8	2	0.3	6	0.8	+2	-2	
交差点安全進行義務	6	20.7	51	6.9	57	7.4	+2	+1	
指定場所一時不停止	0	0.0	25	3.4	25	3.2	±0	+8	
安全運転義務	ハンドル等操作不適	8	27.6	8	1.1	16	2.1	+1	-6
	前方不注意	2	6.9	17	2.3	19	2.5	+1	+8
	動静不注視	0	0.0	174	23.4	174	22.5	-4	+1
	安全不確認	6	20.7	274	36.8	280	36.2	+3	+31
その他	0	0.0	9	1.2	9	1.2	±0	-1	
その他の違反	0	0.0	24	3.2	24	3.1	-4	-10	
調査不能	0	0.0	1	0.1	1	0.1	±0	-2	
違反なし	3	10.3	138	18.5	141	18.2	-1	+21	
合計	29	100.0	744	100.0	773	100.0	-3	+48	

※ 二輪車乗車中（1当+2当）の死重傷者数

やめよう！「いらち運転」

「いらち運転」とは、

- 赤信号に変わったことを認識しながら、交差点に加速して進入する
- 信号待ち中、青色信号に変わる前に発進する 等

重大事故に繋がりがねない**自分本位の危険な運転**です。

気持ちと時間にゆとりを持ち、速度を控え、危険を予測した運転をしましょう。

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

過去5年累計で見ると、第4四半期は他の四半期に比べ、視認性が低下する薄暮時間帯（日没前後1時間）の交通事故死者・重傷者数が最も多く、次いで、夜間帯に入った午後6時から午後8時にかけて死者・重傷者数が多いという特徴がある。

さらに、第4四半期のうち、12月は薄暮時間帯の交通事故による高齢者の死者・重傷者が最も多く、状態別では、歩行中の死者・重傷者数のうち高齢者は約79パーセント、自転車乗用中の死者・重傷者数のうち高齢者は約47パーセントを占めている。

これらを踏まえ、高齢者に重点を置き、加齢に伴って生じる身体機能の変化（例えば、認知機能の低下、疾患による視野障害等の増加、反射神経の鈍化、筋力の衰え等）を理解し、安全な交通行動を実践するための交通安全教育や薄暮時間帯における反射材用品等の視認効果や使用方法について周知し、自発的な活用を呼びかける広報啓発活動を実施するほか、ドライバーに対しては薄暮時間帯における早めの前照灯点灯及び夜間帯におけるハイビームの適切な活用を呼びかける広報啓発活動等を積極的に展開することにより、夕暮れ時と夜間の交通事故防止を図る。

◆ 推進機関・団体での推進項目

- 信号の遵守、道路横断時の安全確認の重要性に関する交通安全教育の推進
- 夕暮れ時と夜間における交通事故の特徴（日没前後1時間の死者・重傷者数が多い等）を踏まえた交通安全教育等の推進
- 夕暮れ時における前照灯の早期点灯を促進するための広報啓発活動の推進
- 歩行者等に対する反射材の活用や明るい目立つ色の衣服等の着用効果を理解させる交通安全教育等の推進
- 夜間の対向車や先行車がない状況においてハイビームを活用促進するための広報啓発活動の実施
- 高齢者自身が加齢に伴って生ずる身体機能の変化（認知機能の低下、疾患による視野障害等の増加、反射神経の鈍化、筋力の衰えなど）を理解し、安全な交通行動を実践するための交通安全教育等の推進

◆ 広報・実践促進事項

- 歩行者は、
 - 信号等の交通ルールをしっかりと守り、交通事故防止に努めましょう。
 - 道路を横断するときは、確実に安全確認を行い、横断歩道を渡りましょう。
 - 夕暮れ時や夜間に外出する際は、反射材の活用や明るい目立つ色の衣服を着用しましょう。
- 自転車利用者は
 - 信号を守る、一時停止の標識がある交差点では必ず止まるなど、交通ルールをしっかりと守りましょう。
 - 自転車利用者は相手から早く発見してもらえるためにも早めのライトオンを心掛けましょう。
 - 日頃から点検整備を行い、反射材を取り付けた自転車を利用しましょう。
- ドライバーは
 - 夕暮れ時は早めにライトを点灯し、夜間はハイビームを適切に活用しましょう。
 - 交差点や横断歩道に近づいたら速度を落とし、歩行者や自転車の動きをしっかりと確認しましょう。
 - 横断歩道等では歩行者がないことが明らかな場合を除き、直前で停止可能な速度で進行しましょう。
- 地域・職場では
 - 事業者や安全運転管理者等は、従業員に対し、夕暮れ時の早めのライト点灯・夜間のハイビームの適切な活用、歩行者等に対する思いやりのある運転について指導を徹底しましょう。
 - 自治会、子供会、老人クラブ等において、夕暮れ時や夜間に交通事故に遭わないための参加・体験・実践型の交通安全教室を開催しましょう。
- 家庭では
 - 交通ルール遵守の重要性のほか、夕暮れ時の早めのライト点灯、夜間のハイビームの適切な活用、明るい色の衣服の着用や反射材等の有効活用について家族で話し合い、交通安全意識を高めましょう。

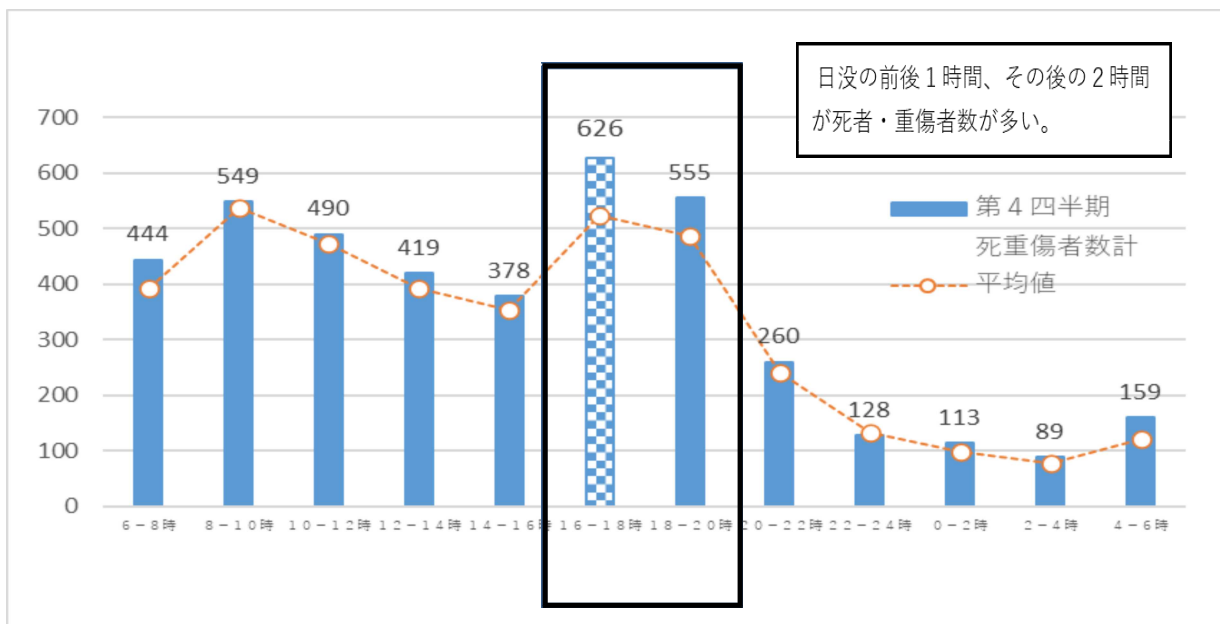
○ 四半期別・薄暮時間帯における交通事故発生状況（平成30年～令和4年の過去5年平均）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		四半期平均
	平均比	平均比	平均比	平均比	平均比	平均比			
事故件数	5,364	+8%	3,984	-20%	4,524	-9%	6,048	+21%	4,980
死者数	22	+22%	20	+11%	14	-22%	16	-11%	18
重傷者数	503	+2%	413	-16%	456	-8%	601	+22%	493
死者・重傷者数	525	+3%	433	-15%	470	-8%	617	+21%	511

○ 薄暮時間帯における第4四半期月別の交通事故死者・重傷者数（平成30年～令和4年累計）

	10月			11月			12月		
	死者・重傷者数			死者・重傷者数			死者・重傷者数		
	うち高齢者	各状態別 高齢者の割合		うち高齢者	各状態別 高齢者の割合		うち高齢者	各状態別 高齢者の割合	
歩行者	55	25	45.5	53	26	49.1	52	41	78.8
自転車	81	24	29.6	71	34	47.9	62	29	46.8
二輪車	68	7	10.3	71	8	11.3	65	14	21.5
自動車	16	0	0.0	10	2	20.0	13	4	30.8
合計	220	56	25.5	205	70	34.1	192	88	45.8

○ 時間帯別の交通事故死者・重傷者数（平成30年～令和4年累計）



飲酒運転の根絶

飲酒運転による悲惨な交通事故が後を絶たない中、12月は特に飲酒機会が増える時期であることから、様々な機会を通じて飲酒運転の悪質性、危険性等について周知啓発し、飲酒運転の根絶に向けた取組を推進することで、飲酒運転は「犯罪」という意識を府民に浸透させ、飲酒運転の根絶を図る。

◆ 推進機関・団体での推進項目

- 地域、職場等における飲酒運転根絶への取組の推進及び交通事故被害者等の声を反映した広報啓発活動等を通じた「飲酒運転を絶対にしない、させない」という「飲酒運転を許さない社会環境」の醸成
- 飲食店等における運転者への酒類提供禁止の徹底及びハンドルキーパー運動の促進
- 飲酒運転の悪質性・危険性を理解させるなど、飲酒運転行為を是正させるための運転者教育の推進
- 自動車運送事業者等による運転前後のアルコール検知器の使用や業務に使用する自動車の使用者等における義務の遵守の徹底

◆ 広報・実践促進事項

飲酒運転をするおそれのある人にお酒を勧めたり、車を貸すことや、飲酒運転の車に乗せてもらうことは犯罪です。

- **ドライバーは**
 - 「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を遵守しましょう。
- **地域・職場では**
 - 地域や職場で開催する会合・各種行事において、アルコールが運転に及ぼす影響や、飲酒運転に関する罰則について周知するなど、地域や職場ぐるみでの取組を実施しましょう。
 - 事業者や安全運転管理者等は、従業員に対し、飲酒運転の危険性等について教育し、安全運転を遵守させましょう。
 - 同僚、友人や隣人同士などがお互いに飲酒運転防止を呼びかけましょう。
- **家庭では**
 - 飲酒運転がもたらす、自分や家族の将来に甚大な影響を及ぼす結果について話し合いましょ。
 - 飲酒した家族が車両を運転することのないようお互いに注意しましょう。
 - 「飲酒運転は絶対にしない・させない・許さない」を合言葉のもと、家族だけでなく、友人同士などでお互いに注意し合いましょ。

○ 飲酒運転による交通事故発生状況（令和5年9月末確定値）

	令和5年	令和4年	前年比	増減率
件数	113	109	+4	+3.7
死者数	4	6	-2	-33.3
重傷者数	23	21	+2	+9.5
死者・重傷者数	27	27	±0	±0.0

○ 飲酒運転の交通事故発生状況経年推移

区分	年										
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
件数	239	236	192	191	207	181	174	151	131	159	
死重傷事故件数	43	37	33	28	41	21	40	25	25	32	
死者数	11	6	10	11	12	6	14	9	8	9	
負傷者数	316	347	264	251	269	230	233	214	169	209	
重傷者数	33	35	28	20	31	16	33	23	21	27	

※ 1当原付以上飲酒ありの件数とその事故により生じた死傷者数を計上